

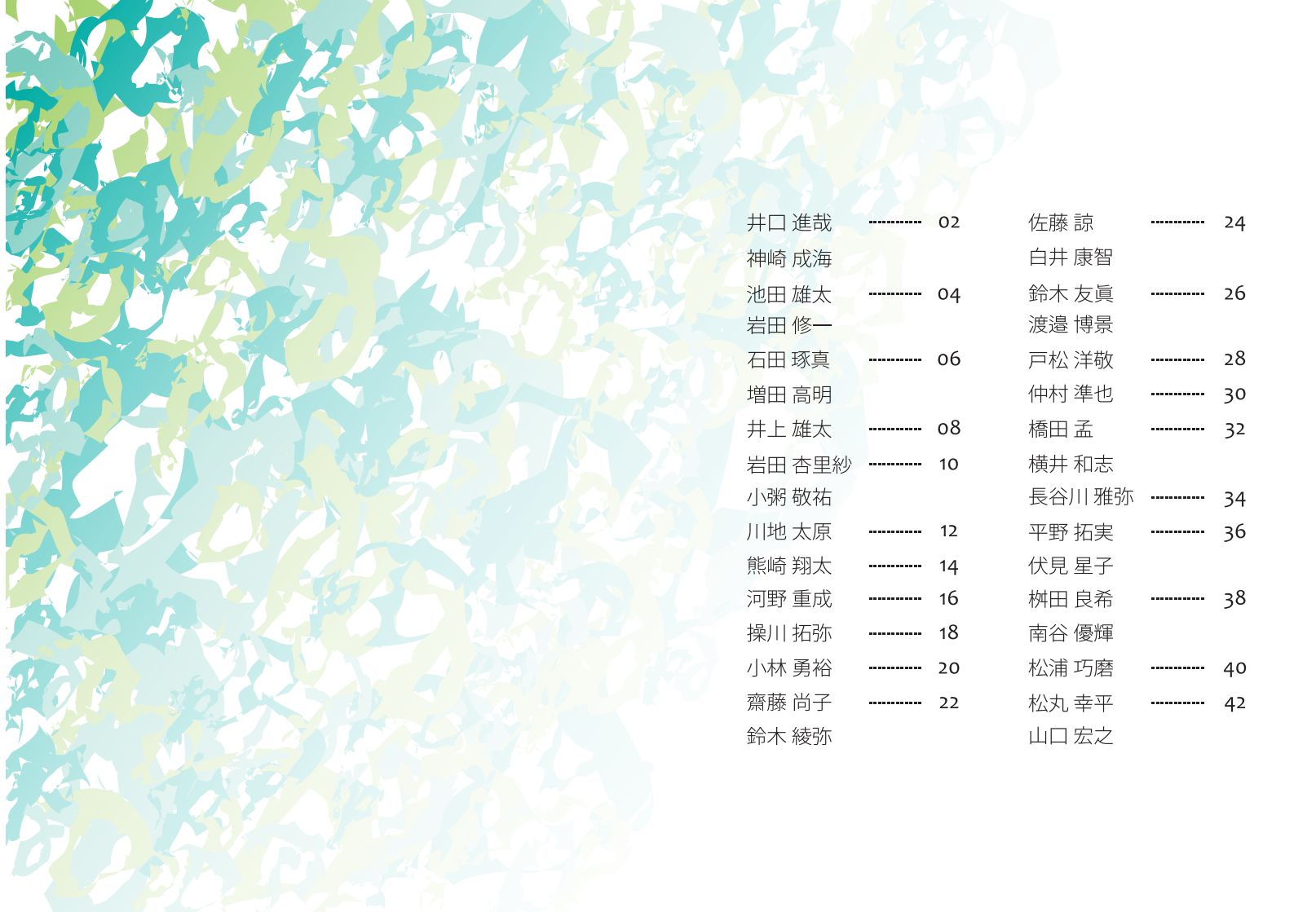


DAIDO UNIVERSITY
GRADUATION WORKS
PRODUCT DESIGN 2015

Daido University Graduation Works

Product Design 2015





井口 進哉	-----	02	佐藤 諒	-----	24
神崎 成海			白井 康智		
池田 雄太	-----	04	鈴木 友真	-----	26
岩田 修一			渡邊 博景		
石田 琢真	-----	06	戸松 洋敬	-----	28
増田 高明			仲村 準也	-----	30
井上 雄太	-----	08	橋田 孟	-----	32
岩田 杏里紗	-----	10	横井 和志		
小粥 敬祐			長谷川 雅弥	-----	34
川地 太原	-----	12	平野 拓実	-----	36
熊崎 翔太	-----	14	伏見 星子		
河野 重成	-----	16	柘田 良希	-----	38
操川 拓弥	-----	18	南谷 優輝		
小林 勇裕	-----	20	松浦 巧磨	-----	40
齋藤 尚子	-----	22	松丸 幸平	-----	42
鈴木 綾弥			山口 宏之		

CITRO





ライフスタイルにフィットする組み合わせキッチン

一人暮らし用のミニキッチンから家庭向けのセパレートキッチンまで、組み合わせによって幅広いライフスタイルに対応できるキッチンの研究。独立したそれぞれのユニットが別々の機能を持っており、目的・条件に応じて並べ方を変更できる。扇形のユニットは、果物をイメージし、半円の並べ方から反転して波型にすれば、二人が対面しながら料理ができる。キッチンメーカー「Yuki corporation」のサポートを受けて、より製品的視点から製作を行った。



井口 進哉
iguchi shinya



神崎 成海
kanzaki narumi

ZCAR





自由で快適なショッピングカートの提案

「自由で快適」をテーマに現在のショッピングカートとは別の方向性で提案した。レジ台への移し替え時に力が入ることがあり、身体への負担を生じることがある。そこで提案したアイデアは台に突起部分を設置しカゴを止めることで枠部分を無くした。また、従来の持ち上げる動作を無くすことでユーザー使用時のストレスを軽減し、既存のショッピングカートでは成し遂げることのできないデザイン性の高いショッピングカートを提案した。



池田 雄太
ikedata yuta



岩田 修一
iwata shuichi

おはらい箱





勉強や仕事がかどるダストボックス

机の上のゴミを簡単に捨てることのできるダストボックス。さまざまな作業をする中でついついゴミが溜まってしまいがちな机の上。そんな机の上のゴミを手で払うことで簡単に捨てることが可能になる。それにより机の上がきれいに保たれる。内箱の部分は手前に引くと40度傾きそこからゴミが捨てられる。取り外しが可能なためゴミが溜まった時には各家庭のメインのゴミ箱に容易に捨てて行くことが可能である。勉強や仕事を効率よく進めるために、常にきれいな机の上で作業することで、心地よく仕事や勉強をすることが出来る。



井上 雄太
inoue yuta

就労支援と地域の特徴を活かしたここだけグッズ





障がい福祉サービス事業所における制作物の検討と固有イメージ作り

岐阜県の恵那市福祉協議会障がい福祉サービス事業所明智ひとつばたごの協力を得て、制作物の検討とそれに加えて、制作物全体の特徴を効果的に外部へ発信する事業所のイメージ作りの研究を行った。固有イメージ作りとしてはロゴ、マークの制作、それらを利用したタグを制作し商品に統一感を持たせた。制作物としては通所者の障がいの度合い、特徴を考慮し、マープリングを施した「色模様葉書」と、版木に立体物を張り付けて版画で写し取る「こらーじゅ版木あーと」を提案した。



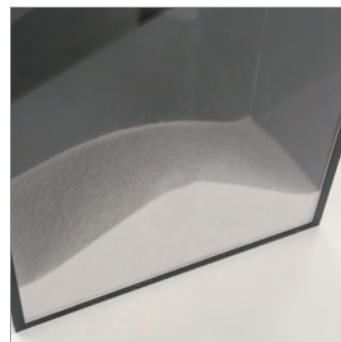
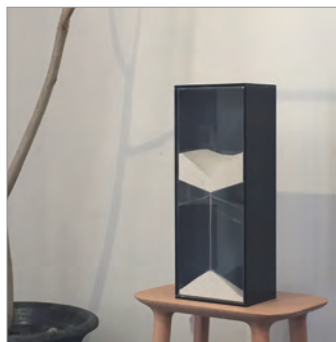
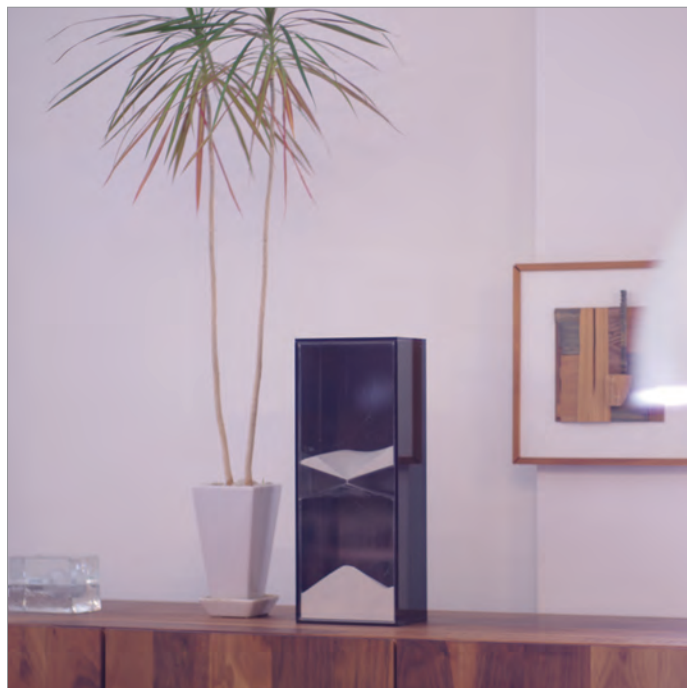
岩田 杏里紗
iwata arisa



小粥 敬祐
kogayu keisuke

sunachi





時間を見るのではなく、感じる

日々、社会の時間に追われる暮らしの中で、時間を数字で見て知るのではなく「もう、これだけだったのか。」「まだ、こんなにある。」など、人の見方によってそれぞれの時間を感じられるような物があれば、生活の時間にゆとりが生まれてくるのではないかと思った。sunachi は、表にデジタル時計、裏に 24 時間の砂時計を備え付けた時計である。仕事などで時間を知る必要がある場合は表を、休日などゆとりをもって 1 日を過ごしたい時は、裏の砂時計を使用する。



川地 太原
kawazi taigen

Coordinates Hanger





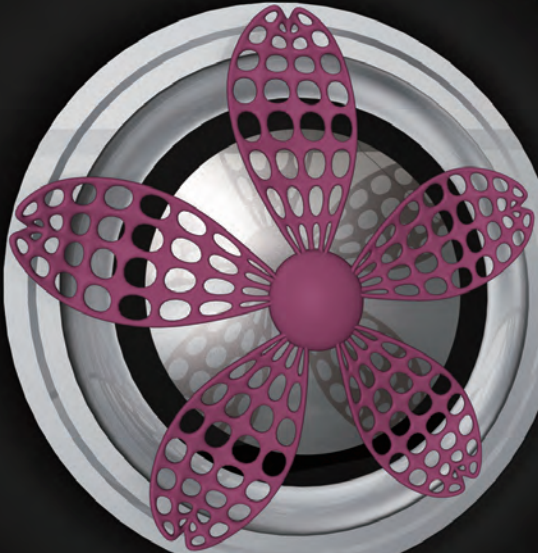
コーディネートの確認ができるハンガー

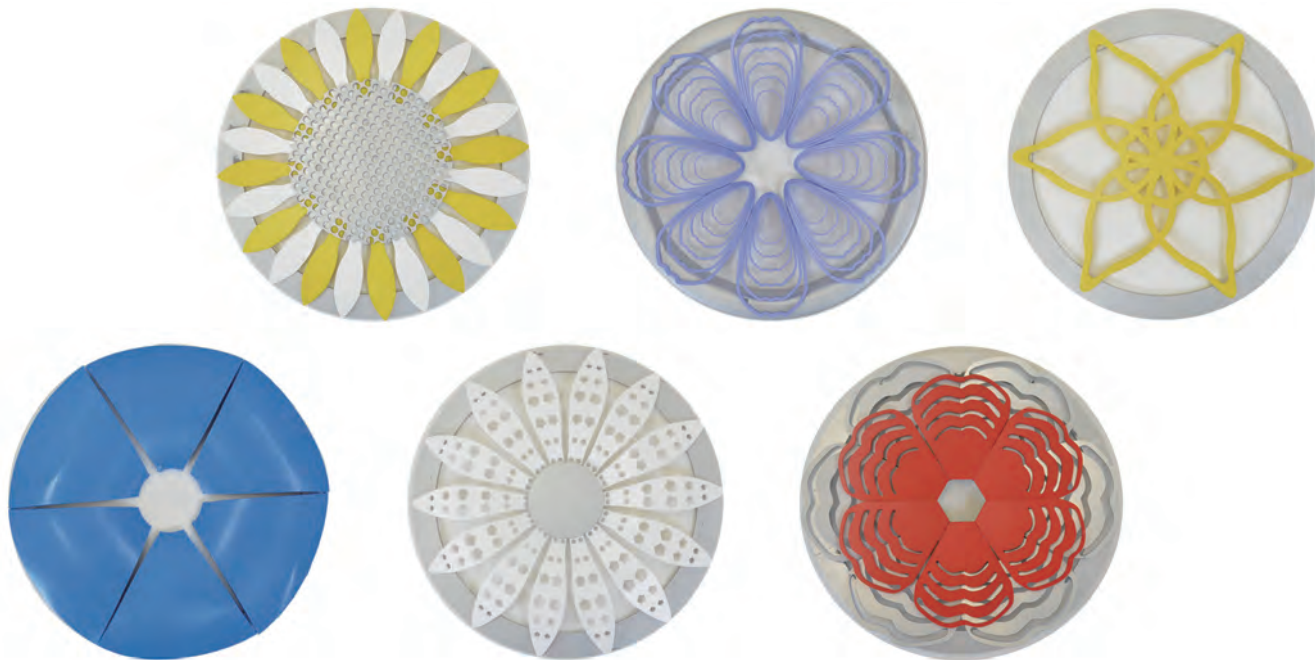
衣服のコーディネートを確認するときに実際に着てみたり、身体にあててみたりすることがある。その場合、着替えに手間がかかる、雰囲気分かりづらいなどの問題がある。そこで、上と下をあわせて掛けられることができ衣服を着ているように見せられるハンガーがあるととても便利だと考え、コーディネートの確認が可能なハンガーの研究を行った。最終案では、5連の輪をワイヤーで繋げたもの、竹製のトルソーハンガー、黒い樹脂のテープをランダムに貼り合わせたものをデザインした。



熊崎 翔太
kumazaki shouta

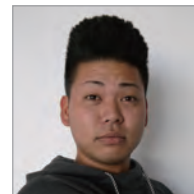
コーノホイール





季節をまとうホイールデザイン

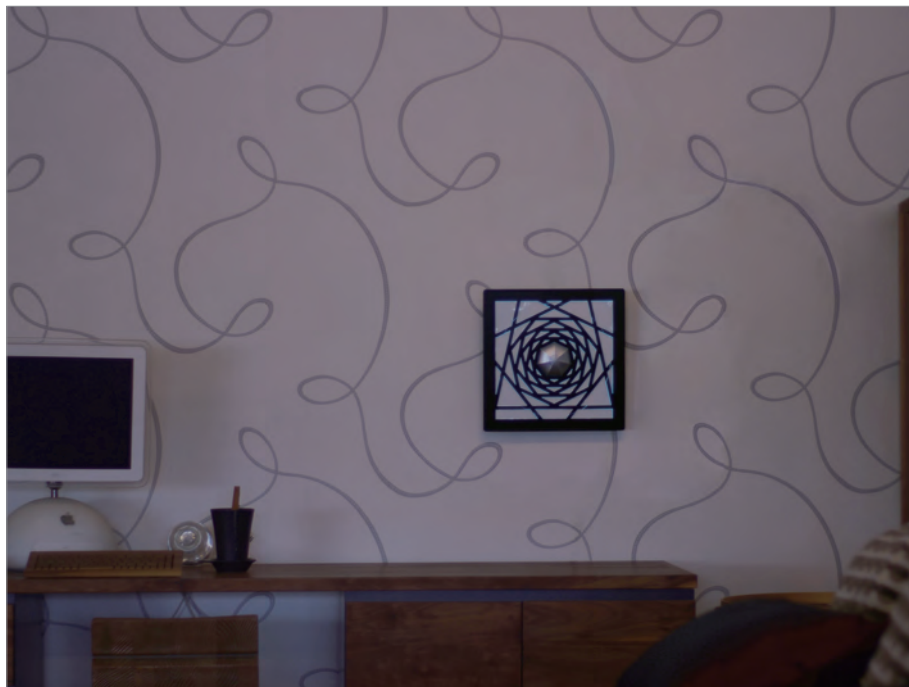
人が衣替えするように、ホイールも季節によって衣替えする。季節にあったデザインを落とし込んだファッションホイール。季節ごとの花を選び、その花をモチーフにしたデザインになっており春は桜、夏は向日葵・朝顔、秋は菊・コスモス、冬は椿・スイセンを選んだ。花一つひとつの特徴を活かしながらかれまでにない斬新な形のホイールを目指したデザイン。ホイールキャップなので取り外しも楽にでき、季節を問わずともその日の気分に合わせてホイールを変える事ができる。



河野 重成
kono shigenari

Skipt.EL





睡眠を改善する有機EL照明の研究

この作品は睡眠を改善する照明である。良い目覚めというのは光によってのみもたらされる。そこで考えたのが間接照明と直接照明が切り替えられる照明である。寝るときには、直接から間接に切り替わり、おきるときには間接から直接に切り替わる照明である。そのことにより、より良い目覚めを感じることができる。また、この照明は同じ模様の有機ELとアクリルが回転することで徐々に形状が変化していく。そのことにより、時間も感じることができる照明を制作することができた。



操川 拓弥
kurikawa takuya

White Beer Glass, Fruit Beer Glass, Lite Beer Glass





発泡酒を飲むためのグラス

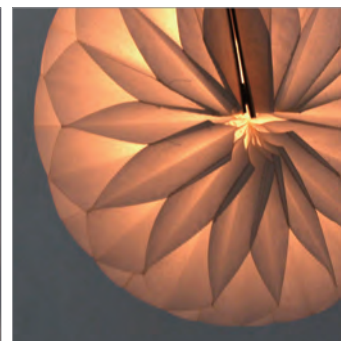
発泡酒は、ビール風アルコール飲料でビールではない。ビールに比べると低価格だが、味が薄い、苦みが足りない等の、「ひと味足りない」といった評価が多い。そのひと味足りないを、グラスでカバーするということを考えた。国や地域ごとに素材や形が違う様々な種類が存在しているビールグラスだが、その多くは発泡酒を楽しむためには考えられていない。様々な特徴を持つ発泡酒の中から、代表的な3種類の発泡酒を選び、それぞれの専用のグラスを考案し製作した。



小林 勇裕
kobayashi yusuke

はにかむ らんたん





Bright your life ~ストレス社会の現代に人々の心を明るく照らす照明を~

ハニカム構造を利用したペンダントライト、スタンドライト、ブラケットライトの3種類の照明器具を提案した。ハニカム構造を使用することで、「変幻自在に形を変化させること」と、「光の射し込み方を変化させること」ができる。他にも照明の基盤には、アロマオイルの瓶を取り付けることができ、香りを楽しむことができる。これらの「形」「光」「香り」が持つ癒しの効果で人間の五感に働きかけ、ストレスの緩和を様々な方向から与える照明器具である。

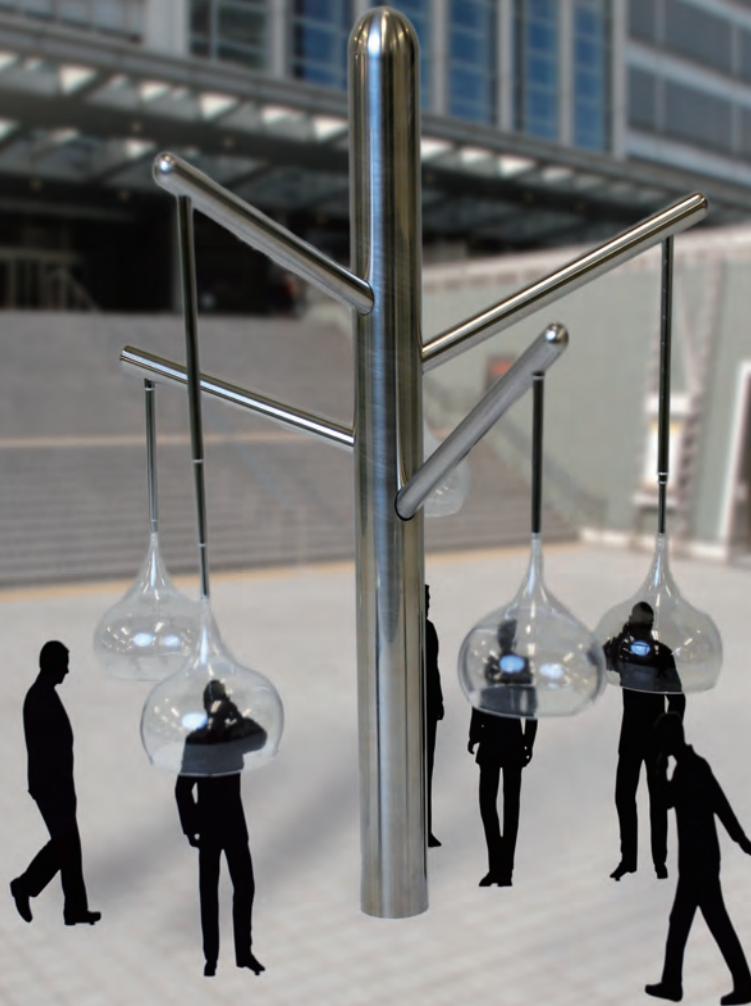


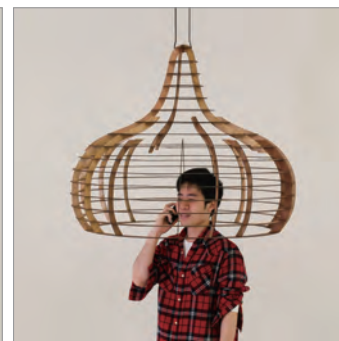
齋藤 尚子
saito naoko



鈴木 綾弥
suzuki aya

Drop



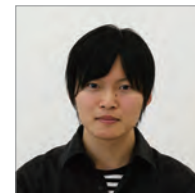


戸外での携帯電話の通話を豊かに演出する空間の研究

技術進歩によって誕生した携帯電話は、人とのコミュニケーションを容易にするものとなった。しかしながら、騒音の激しい場所では、通話が困難である。本研究は、戸外での携帯電話の通話を豊かに演出する空間の研究である。水滴のような形状に人が入って通話すると、音が遮音され、快適な携帯電話の通話が可能である。個の空間を形成するとともに、駅前等の景観に、アクセントとなる工夫をした。携帯電話専用の個の空間を形成し、通話を豊かにする提案を行った。



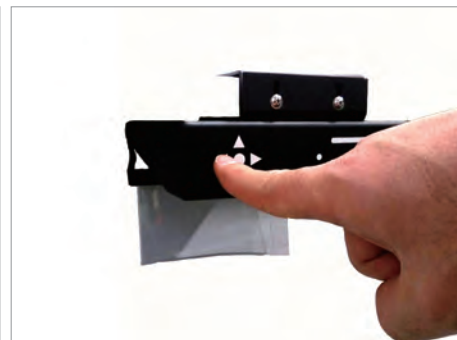
佐藤 諒
satou ryou



白井 康智
shirai yasutomo

YH-360S DRYVE





サーキット走行におけるコミュニケーション機器

モータースポーツでは、通信機器などのコミュニケーションツールが必要な場面が数多くある。しかし、専用の機器が無く、あり合わせの機器で間に合わされることが多い。取り付け不良等で走行中の落下などが起こったり、イヤホンの脱落など数多くの問題を抱えている。そういった実態を調査、分析した。グループでの使用及び走行会に参加する場面において便利な機能を付随し、一般人でもレースの雰囲気を簡単に味わえるコミュニケーションツールを提案した。



鈴木 友眞
suzuki yuma



渡邊 博景
watanabe hirokage

POP CUP SET





どこでもティータイムを楽しめるコーヒーセット

現在市場にあるコーヒーセットは、場所をとるものも多く、野外で持ち運びにくい、またドリッパーは洗いにくく衛生面に問題がある。その問題を解決するため、場所をとらず、持ち運びやすく、衛生的なコーヒーセットをデザインした。カップのデザインは、洗いやすさを考えて高さを低めにし、取っ手にはシリコンを使用した。ドリッパーは、持ち運びをしやすいように伸縮性のあるシリコンを使用し、また洗いやすく衛生的である。また取っ手とドリッパー外周を同じにすることにより、一貫性のあるカップのデザインにした。



戸松 洋敬
tomatsu hirotaka

しばつむり





伝統工芸有松・鳴海絞りロボットの外装デザイン

本学工学部総合機械工学科ロボティクス専攻と連携し、伝統工芸「絞り」におけるキャラクターロボットを製作した。親しみやすく可愛らしい外装でロボットを包み込むことにより、幅広い人に「絞り」を体験して貰い伝統工芸の活性化を目指した。丸くて大きなインパクトのある顔に、触りたくなるような触角がチャームポイント。身体から覗けるロボットの動きで興味を持たせる。また、後ろに背負った殻の中に樹脂キャップを収納できる工夫をした。



仲村 準也
nakamura jyunya

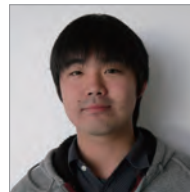
Table Bed





狭い空間を有効活用するための家具

テーブルとベッドの両方の機能を備えた家具。二つの家具の機能を一つにまとめることで、室内の省スペースを実現した。一人暮らしの若者をターゲットとし、日本の狭い居住空間に合う『コンパクトなデザイン』を目指した。素材にはホワイトバーチ合板を使用。側板の内側にキャスターを内蔵した脚が取り付けられており、天板を下げながらキャスターを転がすことで、テーブル⇄ベッドの変形をスムーズに行うことが可能となっている。



橋田 孟
hashida hajime



横井 和志
yokoi kazushi

Turn ∩ Shaker





エレクトーンプレイヤーのための椅子の提案

これはエレクトーンを演奏するときを使う椅子である。現状の椅子は、演奏中に姿勢が崩れる、猫背になり易い、ベースを弾く時、無理な体勢を取るといった問題点があり、これらが原因で腰痛や自分の実力を発揮できないという問題が起こる。座面に適切な角度をつけることにより姿勢を良くし、座面が回転することにより、演奏者の演奏をアシストする。幼少期からこの椅子をつかうことで、自然と姿勢を良くすることにつながり、無理な体勢を取らないようになる椅子である。



長谷川 雅弥
hasegawa masaya

Lace Ceramic





磁器を利用した新しい素材と成形方法の研究

磁器を用いたランプシェード。ろくろや鋳込みなど一般的な製造法では不可能な形を実現した。極めて軽く、既存の磁器製品にない透光性が特徴。フェルトをレーザーカットし、泥を染み込ませ成形する。その後釜で焼くとフェルトは焼けて無くなってしまい染み込んだ泥だけが磁器として残る。型代が不要で、レーザーにより大量かつ正確に安価で製造可能。この製造法によって地場産業に新たな動きを起こすことができ、これから様々な製品への応用が期待できる。



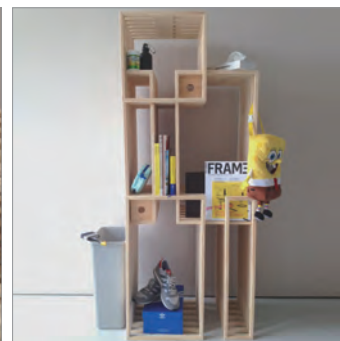
平野 拓実
hirano takumi



伏見 星子
fushimi shoko

COMPOSITUM





空間の用途に合わせて変化可能な家具

近年、間取りは大きなスペースをワンルームとして構成し子供の成長に合わせて仕切り方を変化させて利用する傾向がある。幼児期、児童期、青年期と必要となる機能や収納スペースの大きさなどが異なる、このため子供の成長に即して組み合わせ、ユニットの数量などを変化できる家具には有効性があると考えた。子供の成長に合わせて必要となる機能と収納スペースの量に柔軟に変化が可能な家具デザインの在り方を追求し、ユニット式に組合せる家具の提案である。



栴田 良希
masuda yoshiki



南谷 優輝
minatani yuki

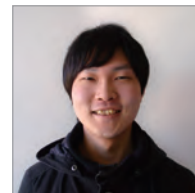
Wood Float





香りと音を楽しむ防水スピーカーの提案

「Wood Float」は、お風呂に浮かべて使う防水スピーカーである。防水スピーカーだけではなく天然木を使うことで「香り」と「音楽」を同時に楽しむことができる。機器との接続方法はBluetooth接続をして使用。デザインは、「浮遊感」や「癒し」をテーマに考え、フワフワと浮いている防水スピーカーを見て癒されることを狙う。モチーフとして「クラゲ」や「気球」などを参考にしている。耳、鼻、目で感じてよりお風呂にはいるという時間を充実させ、生活に「ゆとり」と「癒し」を与えることが今回の研究の目的である。



松浦 巧磨
matsuura takuma

Mondriaan flame





モンドリアンの世界観を感じることの出来るアートフレーム

オランダの抽象画家であるモンドリアンの作品の世界観を引き立たせるためのアートフレーム。多くのモンドリアンの作品の原点は枝。枝の分かれ目を抽象化していき、計算された幾何学的構造は服のデザインになるほど多くの分野で使用されている。そこで、そのようなモンドリアンの作品を活かすアートフレームを提案した。モンドリアンの素晴らしさを目で見るだけでなく香りでも表現し、棚の要素を取り入れた機能性の高い新しいアートフレームをデザインした。



松丸 幸平
matsumaru kouhei



山口 宏之
yamaguchi hiroyuki

奥付

私たちは、大同大学情報学部情報デザイン学科プロダクトデザイン専攻の
4期生として4年間の集大成をここにまとめました。
最後までご覧いただき、誠にありがとうございました。

作品集制作・監修

岩田 杏里紗
佐藤 諒
仲村 準也
伏見 星子

印刷・製本

PRESS-TALK